

---

## 技術研修会の開催報告

技術研究所では各種広報活動の一環として毎年「技術研修会」を開催している。

以前は自転車業界入社2、3年目の社員を対象に自転車の基礎的な試験評価技術の研修を主テーマに開催していたが、数年前より毎年テーマを決めて開催されることとなった。ちなみに過去5年では87年・コンポジット（CFRP パイプ作製）、88年・コンポジット（CFRP ラグ作製）、89年・接着、ろう付け接合、90年・FEM、91年・クレーム処理であり、経験年数にこだわらない多くの参加者を得て毎年開催されてきた。

今年度は再びコンポジットの研修とし、平成元年～3年度にかけて研究開発した研究成果を基に SRTM モノコックフレームの成形研修とした。なおこの分野の研修はすでに「個別研修」にて研修を実施してきたが、今回

総集編の成形研修として開催した。

実習の関係上10名の定員を予定したところ14名（内業界10名）の参加者を得、三重大学横山敦助教授、日東紡績 FRP 研究所西崎昭彦研究員ほかの講義と成形実習、およびサントリー木曾川プラントの見学が行われた。

実習ではフレーム体、前ホークそれぞれ3台成形し、RTM成形法の特徴、モノコックフレームの成形手法を習得した。また積層板などの基礎的な試験片の作製、フレームの剛性試験なども行った。

終了後のアンケート結果によればおおむね好評であった。またコンポジットの自転車への適用については期待している、使用されるとの意見がほとんどであり、この方面の研究および研修等の情報提供の継続が期待されていることが分かった。

---